



真夏の祭典 納涼会開催

8月4日(土) 17時～19時30分
サンパルネ・コンベンションホール



今年も納涼会開催の時期となりました。会場は総会・新年会・雑学講座等ですっきりおなじみとなった、サンパルネ・コンベンションホール。

昨年同様、今春の新生を招待、又早稲田祭実行委員の現役学生や近隣稲門会の仲間も参加予定です。

ご家族の参加も大歓迎。新たな出会いがきっと見つかります。ふるってご参加ください。

記

日時 8月4日(土) 17時～19時30分
場所 サンパルネ・コンベンションホール
(東村山駅西口 駅ビル2階)
会費 会員 3,000円
同伴者 1,000円

会からのお知らせ

○ 平成24年8月 定例役員会

日時 平成24年8月4日(土) 14:00～16:00
場所 サンパルネ・コンベンションホール
17時から納涼会を行います(多くの皆様の参加をお待ちしています。)

○ 新入会員

中村 幸宏さん 昭和57年商卒 (誕生月 12月)
(お嬢様が今春早稲田大学に入学、それがご縁で入会されました。)

☆☆ 大学関連ニュース ☆☆

2011国家公務員採用I種合格者

①東京大学 444名 ②京都大学 167名 ③早稲田大学 105名
出身大学別合格者では、昨年同様、3位でしたが、昨年度の71名から大幅に増加しました。

2011新司法試験合格者

①東京大学 210名 ②中央大学 176名 ③京都大学 172名
④慶応大学 164名 ⑤早稲田大学 138名

2011年度の進路状況(学部)

進路報告者 9343名 (96.1%) 就職 6019名 進学・留学 2067名
資格試験受験 237名 その他 1020名

全日本大学野球選手権優勝

第61回全日本大学野球選手権で早稲田大学野球部は亜細亜大学を破り5年ぶり4度目の優勝を果たしました。最高殊勲選手賞には吉永が輝いた。同賞に1年生が選ばれるのは07年の斉藤祐樹以来2人目。秋も是非頑張って連覇して欲しいですね。

☆ 他稲門会関係

町田稲門会・会長交代について

町田稲門会では藤田安弥会長に代わり鈴木汎雄（ひろお）氏（S40・法学部）が、就任しました。

武蔵野稲門会・会長交代について

武蔵野稲門会では谷内隆衛会長に代わり山内巖氏（S43・理工学部）が就任しました

武蔵野稲門会創立30周年記念・グリークラブ公演について

武蔵野稲門会では、創立30周年記念事業として早稲田大学グリークラブの演奏会を行います。地域稲門会の交流を深める意味からも、是非多くの皆様のご参加をお願いします。**2012年10月28日（日）武蔵野市民文化会館 全席自由席 2000円**

希望者は小亀までご連絡ください。

**「庭木の思い出」**

森本 吏（S39政経）

子供の頃からの夢であった上京を果たし、高田馬場から古本屋が限りなく続く通りを経て、早稲田の門を入ると構内に銀杏の木が並んでいた。この原風景がいまでも私の脳裏に焼きついている。学生時代は楽しい充実した生活を送ることが出来たが、大隈庭園近くの学生ホールをよく利用したことが懐かしい思い出だ。西武沿線での下宿で、野方、武蔵関等を経て仕事をすることになってから何年かの後、東村山市青葉町の狭い、小さな庭付きの一戸建ての家を買い、庭とブロック廻りに庭木を植えていった。家の周りは栗畑であったが、二階から見ると青葉小学校の校庭に桜の木がいっぱい植えてあったのを今でも思い出す。

私の実家は伊勢の地でみかんを作っていたので、果樹に興味があったが、東京に来て初めてカリンの木を知った。3本程苗木を買って植えたが、花も実もなかなか遅く、実生の盆栽は花も実もならないかも知れない。

アケビの根を田舎から持ってきて植えた。実は種が多く入っているのに驚いた。

「サカタの苗」で小粒のスモモの苗を植えたが、花も実も遅く、穂が大きくなっていった。その後、白い花が咲き実がなるようになった。会社へ持って行って喜ばれたが、だんだん忘れられていく果物の一つであるのは誠に寂しい限りでならない。木が大きくなり過ぎて困っていた矢先に東京では珍しい台風で倒れてしまった。

外国の果樹で、アイスクリームのような実の味がする世界三大珍味といわれる、チェリーモアという果樹がある。これからは日本でも作れるように努力していかなければならないと思っている。また、息子が学園の卒業記念にもらってきた「ビワ」の種を植えたが、実がなり良い記念になったと嬉しく思っています。

日本の農業は、戦後の作れば売れる作物でなく、品質を高め輸出をしていかなければ生き延びていけない時代になりつつあるのではないかと思います。そして、これからは植物の知識を持った樹木医の存在がもっとクローズアップされていいのではないのでしょうか。昔は巨木崇拜もあったと聞きますが、今は「地球と環境の共生」の時代でもあり、樹木を大切にする時代になっています。

最後に、健康志向でタラの芽、アシタバ等を植え、大木の陰で日当たりが悪いが、プランターで野菜を作っている。

何よりも心に強く健康のモチベーションを持って、野菜を食べ、散歩に力を入れ、少しでも長生きしたいと思っています。

第78回雑学講座報告



平成24年6月9日
ふるさと歴史館・視聴覚室

「環境としてのイギリス」
—あなたも英語が上手くなる—

講師 竹貫征雄氏（S41年商卒）

講師は大学卒業後、損害保険会社の東亜火災（現トーア再保険）に入社され、在任中、延べ15年間、ロンドンに駐在されていた関係で、イギリスという国の多面的な姿を熟知しており、その経験から講演は我々がなかなか知ることができないプロフィールを紹介するものであった。再保険会社というものは我々が日常接触している元受保険とは区別され、保険会社が掛ける保険で、一般のお客ではなく相手が保険会社となるため、交渉でビジネスを決めてゆく社会、それも有名なロイズが代表するように殆どがロンドンのシティと呼ばれる地域に集中しているために、交渉はすべて英語ですすめられるという、日本人にはかなり不利な世界である。しかも交渉はオフィス内だけでなく、ビジネスランチと呼ばれる食前酒から始まってワイン、アルコール度の高い食後酒と酒づくりの昼食に耐えねばならず、そこでの交渉、情報交換は日本人にとってはただただ忍耐の世界となって下を向いてしまうことになる。日本人は一般的にあまり他人と議論をしない習性があるが欧米人のみならず、東南アジアの人間も自分の意見を積極的に披露し、I is などと文法はいい加減でもなんとか相手に通じさせている。日本人はつい日本語で考えてそれを頭のなかで翻訳しようとするから発言のタイミングを失ってしまう結果になりやすい。肩書きで通用する日本の社会と個人主義が根付いている英国社会の際立った違いであろう。イギリスというのは和製英語であって、英国では通じない。正式には「グレート・ブリテン・アンド・北アイルランド連合王国」。略称してU. K.。連合は4つの国からなり、イングランド・ウェールズ・スコットランド・北アイルランドで、それぞれの国ごとに、例えばワールドカップでもナショナルチームが出場する。言語もそれぞれの国語があり、紙幣も発行している。対外的にはグレート・ブリテン（GB）という名称を連合王国として使っている。

英国人の仕事で戸惑うことは個人の仕事の範囲が極めて限られており、契約で決められた仕事以外はやらないので、例えばコピーを頼んでも、マニュアルで決めていなければやらないという個人主義と契約主義が徹底している。

生活一般では衣に関しては女性でも他国にくらべて地味であるが、厳格かつ保守的なTPOが定められている。ベークド・ビーンズやマッシュド・ポテト、ソーセージに代表されるようにまずいと定評のある食だが、ガルス・エッグ（かもめの卵）や春先のアスパラガスなど日本では味わえないおいしい料理もある。酒については一般にスコッチウイスキーが有名だが、輸出用としてなのか、イギリス人はあまり飲まない。よく飲まれるのはエールビール。パブなどでは大量に飲まれている。住については地域差＝階級差が厳然と存在していてどこにでも住むというわけにはいかない。日本人駐在員はかつてウインブルドン近辺、いまは韓国人に占拠されてロンドンの西北地域に多く住んでいる。郵便事情は一般に良好である。郵便番号に特色があり、例えばKT3 4JTとあれば家屋の場所が特定できるのは大変便利である。

新聞は日本とは違い、朝刊と夕刊は別会社の発行で日曜休刊、別途分厚い日曜版もある。人の集まったときには宗教と政治の話題は禁物。たとえ職場内であっても果てしのない熱い議論になってしまうことがしばしばである。休暇は日照時間が短い国だけに夏は2、3週間も休暇を取って、地中海の海岸に出かけるが懐の寂しい人は国内の南の海岸に出かける。スポーツに関してはクリケットという気が遠くなるような試合時間の長いものや、（芝生で行う）ロウン・ボーリング、遊びではスヌーカと呼ぶ玉突きやパブでやるダーツに人気がある。ダーツの点数は引き算が主であり、日常引き算はあまり得手でないイギリス人が見事にこなしてしまう不思議さもある。

最後に英語の上達のコツはお互いの意思を伝えることにあり、日本人の文法優先の発想が相手との意思疎通を妨げている場合が多いので、まず声を出すことと、文法にこだわらず言いたいことを簡潔に表現すること、例えばデパートで買ったものをそのまま持ち帰りたいときは「NO LAP OK」これで十分に伝わるはずである（本当はNO WRAP OK）。単語羅列でコミュニケーションは十分とのことで、これで出席者も自信が持てたのではないかと思う。

（高橋 正夫 記）

同好会だより

当会会員の方は、いずれの同好会にも自由に参加できます。

早稲田スポーツを応援する会

世話人 大内 一男

第2回早稲田スポーツを応援する会「春の早慶戦応援記」 (6月2日)



前節明治との死闘を制し、2012年東京六大学野球春のリーグ戦の優勝を決めてはいるが、早慶戦にも勝利し全チームから勝ち点を奪う完全優勝を実現すべく、17名の参加を得て6月2日(土)の第一戦を応援するため勇躍神宮球場に行っていました。

心配していた天気は事前の予報より良くなり、日陰を探すようにして、午前11時半神宮球場6番ゲイト前に集合しました。席は吉永、有原、高梨等投手の速球、変化球の素晴らしさを間近で味わって欲しい、杉山、小野田のバツスイングの鋭さを眼前で見て欲しい、それに一塁側の母校の応援の迫力を別な観点からも楽しんで欲しいというコンセプトの下、小亀会長のご努力によりネット裏正面のチケットを手に入れて頂き、特等席

で観戦することが出来ました。

夏のような陽射しが照りつける中、試合は9回表まで早稲田はいい所なく3対0でリードされ、我々としてはストレスの溜まる試合展開でした。ドラマはやっと、その裏に用意されていました。茂木、佐々木、中村のタイムリーヒットにより一挙3点を挙げ土壇場で追い付いたのです。それまで苛々しながら意気消沈していた一同は一挙に元気を取り戻し声を嗄らして応援したものです。しかし早稲田の勢いも此処まで、延長10回表抑えの有原が2本のタイムリーを打たれ2点のリードを許し、その裏を慶応の好投手竹内大に無得点に抑えられ敗戦いたしました。9回まではなかなか面白くない試合でしたがやはり早慶戦、ドラマチックでした。負けは悔しいですが違った意味の満足感は皆様持てて頂けたと思います。

好事魔多し、早慶戦ではそのシーズン弱かった方が早慶戦には尋常ではない思いで挑んでくるため、思いもよらない力を発揮し往々にして番狂わせが生まれるというジンクスは生きていたようです。結局1勝はしましたが第三戦も敗れ早慶戦で勝ち点を挙げる事は出来ませんでした。

試合後、普段は5時から営業の神宮球場至近の、鮎刺身の美味しい「惣八」をこの日は特別3時半に開けてもらい、15名で懇親会。そして待ちに待ったビールで乾杯、渴いた喉を心地良く潤しました。その後芋焼酎の一升瓶を二本空けるなど盛り上がり、最後は当然校歌で締め解散となりました。約8名はその後神宮の森を去りがたくコーヒーショップで酔い覚まし二次会を行い、連れだって東村山に帰りました。

集合時一番乗りの江藤さんは60年ぶり、福田さんも52年ぶりの早慶戦観戦との事。早慶戦には皆様色々な思い出がお有りのことと思います。秋にも早慶戦観戦会を予定しています。また新しいそれぞれの早慶戦への思いをお創りいただける機会になればと思います。秋の早慶戦を楽しみにお待ちしております、皆様是非ご参加下さい。

参加者：青山・石塚・江藤・大内・小亀夫妻・小菅・小林(傳)・小林(俊治)
高橋・滝来夫妻・内藤・南湖・福田・守屋・山本(敬称略)

(大内 記)

カラオケ同好会

世話人 内藤 慎



6月例会は6月9日開催。先月と同じく前日の最高気温27度が当日は20度と急変、年寄りにはきつい日でしたが、井垣、石塚、高鷲、南湖の各氏が元気に参加しました。暮の優勝大会は仕組みを変えて行います。

課題曲 全員が同じ曲を歌い、更に自由曲を歌い2曲の採点で覇を競います。どうぞ歌い込んで高点を狙って下さい。「北国の春」が課題曲です。

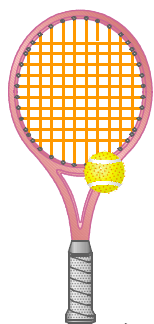
〈今後の予定〉

7月7日(土) 19:10カラオケランド ズー

8月は納涼会開催の為お休みします。

テニス同好会

世話人 田島 隆夫



6月の例会は、6月10日、6月17日（予備日）と計画していたのですがいずれも雨の影響でコートが使用できず中止となりました。

この鬱憤を晴らすというわけではありませんが、前から予定していた合宿の期日と場所が、このほど決定しましたのでお知らせします。

期日 24年10月8日（祝）～9日（火）

場所 「おくたま路」
東京都青梅市二俣尾2-371
TEL 0428 (78) 9711

「おくたま路」は、東村山からは車で約1時間、JR青梅線「石神前」駅より徒歩10分の所にあります。

以前は国民年金の施設でしたが、4年前に国から民間の経営に変わり、リニューアルオープンしました。国保、後期高齢の利用補助も対象になります。

宿の何処からでも多摩川の清流が見えるというのが売りで、テニスコートは雨に強いオムニコートとを2面併設しています。

「体育の日」、運動し旨い酒を飲んで親睦を深めましょう。皆様のご参加をお待ちしております。

麻雀同好会

世話人 小野 智
松永 常尚



第57回大会を去る6月24日（日）麻雀サロン「園」にて開催しました。

今回は生憎常連雀士の日程が折り合わずに、8名2卓にての雀戦となりました。優勝者は初参加の池田氏がスコア83の得点。ご本人は20年振りの麻雀故チョンボしないようにとか話していましたが、赤5がつくのか、西の3風があるのかと玄人筋の質問。偶々後席で見えていたら、多面待ちをする牌捌きは開戦前の言質とは違って、三味線の感がありました。ツキも大きな要因となる大会麻雀とは言え、初参加の優勝は見事なものでした。

準優勝は第56回優勝の実力者、田口氏でした。当日の参加者は阿部、小野、土橋、當間、松永、三宅の各氏でした。

大会終了後は「丸藤」にての懇親会（希望者のみ6名）、優勝を逸した連中のボヤキ、反省の言、新規参加者の勧誘をどう計るか、焼酎2本、ビール大10本を胃袋に収めて、和気藹々の中散会となりました。

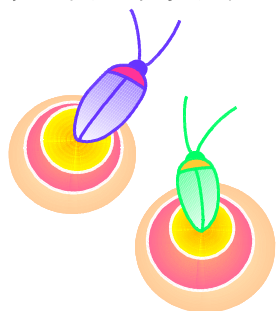
定年後、認知症を避けるべく、頭の体操、勘の養成を心掛けたら如何ですか。初めての方も気軽にご参加下さい。

次回は9月23日（日）「園」にて予定しています。

（松永 記）

俳句同好会（稲酔会）

世話人 井垣 和太



第62回「稲酔」俳句会は6月23日（土）午後2時から「丸藤」で開催しました。

参加者は、井垣稲雀、出田麦穂、風間和夫、小永井哲哉、内藤慎、丸本北窓、の6名。投句参加は、栗島三郎、幸田瑞雄、小亀稲生、高部糸行、八木竜湖の5名。計11名、55句が出句されました。

兼題「金魚」は意外と難しい季語であったようで、苦心の作もありましたが、互選で高点を得るには至りませんでした。

参加者による互選の結果
最高点句には、井垣稲雀（和太）さんの下記の句が選ばれました。

一切の妥協許さず滝落ちる 稲雀

第63回「稲酔」俳句会は8月26日（土）午後2時から「丸藤」2階で開催します。

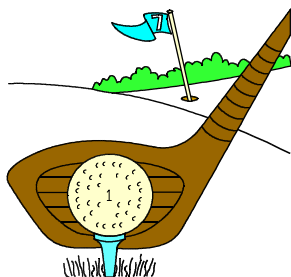
兼題は「夏の酒」一切（麦酒、生ビール、冷酒、焼酎、梅酒、甘酒 等）です。

（稲雀 記）

ゴルフ同好会

世話人 石川 武

第32回同好会コンペを開催いたします 多くの会員のご参加をお待ちしています



会報5月号でお知らせのとおり、ゴルフ同好会第31回コンペはディフェンディングチャンピオンである紅松 喬さんが見事に連勝し、その幕を閉じました。

第32回コンペは、残暑の中にも、そろそろ秋の気配も感じられる長月九月に計画をしております。

我こそはと腕を撫でている貴女。暫く遠ざかっているけど、ここいらで再開しようかとお考えの貴方。未だ、グリーン経験がないとためらっている貴兄。東村山稲門会ゴルフ同好会のコンペは、そんなあなたのためのコンペです。

一人でも多くの方の参加を、お待ちしております！

- 日時 : 平成24年9月13日(木) 7時45分 集合
- 場所 : 西武園ゴルフ場(イン スタート)
- 費用(概算) : 会費・プレー代等併せ 約2万円
- 申込先 : 石川 武
- *日中は留守をしておりますので、なるべく携帯メールにお願いします
- 申込期限 : 平成24年8月25日(土)

ウォーキングの会

世話人 高橋 正夫
阿部 茂

盛夏に向かいますので、水辺を主に歩くプランです。事前の申し込みは不要ですので、当日都合のつく方はお気軽にご参加ください。

第32回 ウォーキング 「入間川から飯能の名刹へ」

元加治駅より入間川の河原沿いの道を歩き、飯能市内の瀟洒な散歩道を散策後、曹洞宗の名刹、能仁寺に立ち寄ります。歩行時間は3時間弱位と思います。飯能駅で解散とします。(駅付近で昼食)

日時：7月22日(日)

集合場所と時間：東村山駅所沢方面ホーム中程の8時55分集合

コース：東村山9時3分発 → 元加治 → 入間川遊歩道 → 美杉台みはらし公園
→ 能仁寺 → 飯能駅北口

その他：天候が悪い場合は朝8時までに高橋宛、ご確認ください。



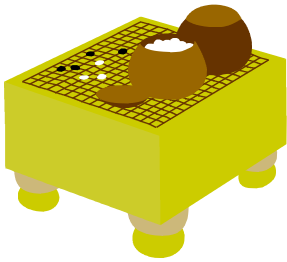
第31回ウォーキング記 (5月27日)

今回はレインボーブリッジの遊歩道を歩くプランで、歩行者用の専用設備が完備していて、普段車で通過しているのとはまったく違った見事な東京湾の景色を楽しむことができました。天候にも恵まれ、特にブリッジから正面に見えるスカイツリーと東京タワーの対比も写真スポットになりました。ブリッジを渡った長いブリッジに隣接したお台場海浜・しおかぜ公園の景観も東京都内とは思えないレジャースポットで、人工の海水浴場で休日を楽しむ人々を眺めながら散策し、ショッピングモール内で昼食、そのあとはゆりかごめ

線のお台場海浜公園駅へ出て新橋駅に戻り、家路につきました。

参加者：阿部・大内・小亀夫妻・高橋夫妻・土橋・月森・豊田・額田・福田・町田・山本(敬称略)
(高橋記)

囲碁同好会

世話人 福田 晃
高 鷲 近

●6月の「例会」は、6月16日(土)に、いつもの市民センター別館で開催されました。生憎の雨もよいのため参加者が少ないのではと懸念されたが、熱心な会員9名がかけつけ、いつものように熱戦がくりひろげられました。

<参加者/敬称略> 一色・江藤・小亀・田島・鈴木・塩田・高鷲・野村・福田

○今回は、小亀さんが本当に久しぶりで参加されました。また、鈴木さんが千葉県八街市より遠路にもかかわらず駆けつけられました。感謝します。

●次回の「例会」は、8月18日(土)を予定しております。くわしくは、次号の『稲門会ニュース』でご案内します。



「会津魂」の地を訪ねて

深瀬 聡 (S51理工)

この5月で定年を迎えた。引き続き同じ会社で同じ仕事をするとはいえ、この際少し休んでもよいかと考えた。御多分にもれず仕事一途の生活で、家族旅行といえば最後にしたのは十数年前であり、勤続25年目に与えられる補助金付きのリフレッシュ休暇も取らなかった有様である。家内は仕事で休むこともできないので、わずか4日の小旅行に独りで出かけた。目指したのは会津若松である。戊辰戦争の悲劇、その後に続く会津人の苦難の歴史の地を一度訪ねたいと以前から思っていたことと、震災の影響で観光客が減っている東北に、多少なりとも貢献できればという気持ちがあったからである。

往きは時間がかかるものの、敢えて東武鉄道と会津鉄道を乗り継いで向かうことにした。150年前とそれほど変わっていないであろうと想像される会津鉄道の沿線風景は、初夏の光を受けてまことに美しかった。会津は今も歴史とともに生きる街である。各所に保科家、松平家の藩政を示す名残があり、それは今も人々の心に色濃く投影されているように思えた。戊辰戦争の際藩主松平容保とともに多くの婦女子が立てこもった鶴ヶ城、白虎隊の少年藩士が自刃した飯盛山、悲劇の藩主容保も眠る荘厳な空気が漂う松平家の墓所など、何処も悲哀に満ちた会津人の歴史を想わせた。最も感銘を受けたのは、藩校日新館である。戊辰戦争で焼失したが、昭和になって当時の建物を忠実に復元したものだ。藩校は会津若松市の中心街から離れたところにあるが、車やバスで直接向かわず最寄の駅から歩いていくことにした。途中福島県の田園風景を眺めながらたどり着いた藩校は磐梯山を背にした小高い丘の上にあり、建物としても大変見事な設計であった。ここで年少者には、「ならぬことはならぬものです」とどめを刺す仕の掟が徹底的に教え込まれたという。明治時代には薩長を中心とする時の政府に排斥された会津人であったが、その中で、柴五郎、山川健次郎、野口英世など多くの優秀な人材が生まれたのは、この藩校の教育に示されるような、誇りや思いやり、そして不屈の精神を養う会津の教育の賜物であったことは間違いないと思えた。

ホテルに帰るとテレビからは、来年のNHK大河ドラマの出演者の記者会見のニュースが流れていた。主人公は戊辰戦争を鶴ヶ城で戦った新島八重である。出演者の一人、郡山出身の西田敏行が、福島の人々の持っていた矜持をもう一度考えるきっかけになれば、と語っていた。他人を思いやり、敬い、自分の行いを戒めることが誇りを持つ生き方の基本である、という精神が会津人には根付いていたに違いない。最近の日本の現状を見るにつけ、それらが失われ、自分だけの安全や利益のみを追求する人が増えたようにしか思えない。白虎隊のように自らの命まで犠牲にし、というわけではないが、他人のために自ら我慢をすることが何故できなくなったのであろうか。他人を押しつけて自らの便宜や快適を追求することがなんと醜いことか。それを考えないようになってしまった原因は、日新館が目指した魂を作る教育が戦後行われなかったからに違いない。これからの日本に会津魂を取り戻すことは最早不可能なのであろうか。そんなことを考えさせる旅であった。

同好会等 短期予定表

同好会・行事	7月					8月					世話人 (問合せ先)
	日	曜	時間	場所	備考	日	曜	時間	場所	備考	
ウォーキングの会	22	日	8:55	東村山駅所沢方面ホーム		—	—	—	—		高橋正
郷土史の会	—	—	—	—		*	*	*	*		江藤
テニス同好会	14	土	9:00~11:00	久米川コート3		12	日	9:00~11:00	久米川コート3		田島
	15	日	9:00~11:00	久米川コート3	予備日	22	水	11:00~13:00	久米川コート4	予備日	
囲碁同好会	—	—	—	—		18	土	13:00~	市民センター別館		高鷲
カラオケ同好会	7	土	19:10~	カラオケランドズー		—	—	—	—		内藤
園芸の会	—	—	—	—		24	金	14:30~	スポーツセンター		當摩
麻雀同好会	—	—	—	—		—	—	—	—		小野
音楽同好会	—	—	—	—		—	—	—	—		高橋文
俳句同好会	—	—	—	—		25	土	14:00~	「丸藤」2階		井垣
ゴルフ同好会	—	—	—	—		—	—	—	—		石川
早稲田スポーツ応援の会	—	—	—	—		—	—	—	—		大内
パソコン同好会	7	土	10:00~12:00	シルバー人材センター		4	土	10:00~12:00	シルバー人材センター		小菅
	—	—	—	—		18	土	10:00~12:00	シルバー人材センター		
雑学講座	—	—	—	—		—	—	—	—		當間

— : 対象月に開催予定無し * : ニュース編集時点未定。詳細は世話人にお問合せ下さい。

編集局だより

○先月、多摩都市モノレールの乗客数が5億人に到達したそうです。開業から13年7ヶ月での達成は国内モノレール10社の中で最速とのこと。私は沿線に住んでいるわけでもなく、通勤・買い物での利用もないので、今までに数えるほどしか乗ったことがありません。そのわずかの利用がつい先日の高幡不動尊へのお詣りでした。新宿から京王線に乗るよりずっと早いと聞き、あじさいまつりにあわせて行ってきました。不動尊に行くには確かに便利です。ご縁日は毎月28日でこれからはせつせと通うかもしれません。震災後乗客数が減少しているモノレールに今後乗る機会が増えそうです。

○次号の原稿締め切りは7月21日(土)です。よろしくお願いいたします。(中村)

fax: 042-391-0581 email: mym-naka@u01.gate01.com



俳壇

子燕のこぼれんばかり谿の駅 小永井 哲哉
 寛永寺裏から入れば竹落葉 高部 糸行
 ひらひらと人振り向かす竹落葉 内藤 慎
 父の日やゴテチャ咲きおり火の如く 丸本 北窓
 出目金ににらみつけられ赤子泣き 鈕打ちて五月雨さびし三回忌
 万緑やされど華岳の「白牡丹」 八木 竜湖
 梅雨さむし骨揚げ前の控え室 友釣りに山女の韻や竿の先
 故郷に落ち着きにけり握鮎 栗島 三郎
 この夏はスロライフの団扇かな 顔寄せば大魚に見ゆる金魚玉 井垣 稻雀
 梅雨寒や百科事典をこみに出し 手の中の小銭の湿り金魚釣り 出田 麦穂
 桜桃忌メロスは走る今もなほ 苗植える子等の喚声学習田 風間 和夫
 病院を二カ所まわりて夕薄暑 番傘の並ぶ旅籠や夏の月 菊田 一平
 みづうみの町は眠たし金魚草 四、五本の不老長寿の木の茂り 幸田 瑞雄
 机上に本重ねし雨後の庭若葉 三社祭金髪も居て金魚釣り 小亀 稻生
 梅雨空やショパンを聴きて鰻食う 梅雨空を染める歓喜の臍脂色 (全日本大学野球選手権優勝)